



東部町文化協会報

せせらぎ

第20号
平成13年12月1日

発行/東部町文化協会
印刷/東部プリント

総合文化フェスティバル



新会長に福島慎雄さん

去る四月十八日に開かれた本年度の総会で新役員が決まりました。(旧役名、部会)

- 会長 福島 慎雄 (副会長、謡曲)
- 副会長 土屋征志郎 (監事、合唱)
- 副会長 小林 俊子 (副会長、せせらぎ)
- 監事 荻原 芳雄 (新、絵画) チヌ
- 監事 佐藤 充子 (監事、華道)

新会長のプロフィール

文化協会との関係は二十年余り前、謡曲グループ「東門会」に入会したのが始まり、それ以前はコーラスクラブに参加しておられました。以後、謡曲一筋で、昨年観世流の能楽師の師範の許証をお取りになり、本年三月、中央公民館でおひろめの会を催されました。

仕事はずっと郵便畑で、御代田郵便局を最後に御退職、現在は海善寺の自宅に奥様とお二人でお暮し(お子様はそれぞれ独立)で、奥様も東門会で謡曲にお励みというおしどり夫婦でいらつしゃいます。

新会長として、予算の制約はあるもの、これまで発表の機会がなかったグループも



出来るだけ多く発表できるよう配慮したい、また文化協会三十周年記念行事も成功させたい、と語っておられます。

前会長 関 義豊さん

退任のごあいさつ

六年間の職責を終りはや半年が過ぎ、協会の皆様方を想い出しているこの頃でございます。

在任中は協会の役員諸氏また会員の皆様方、はたまた生涯学習課の皆様方、ご指導ご鞭撻を戴きましたことに、この紙上をお借りして厚く御礼を申し上げます。

昨今の協会の事業は、各部会の活動量が年毎に増大して、私の就任時と退任時では格段の開きがあり、任期中に協会費の増額



をしましたが、これも事業量の充実と相俟って、会員の皆様より御支持を戴きました。これからも福島新会長のもと会員諸氏には、町の生涯学習の根幹を担い、益々ご発展なされることを、ご期待申し上げます。退任のごあいさつといたします。

平成十三年度文化協会のあゆみ

- 三月三十一日 書道部会会員展(中央公民館)
- 四月十五日 棋道部会大田区東部町交流囲碁大会(大田区体育館)
- 十五日 民謡部会第二二回発表会(中央公民館)
- 十五日 オペラ合唱を楽しむ会発表式
- 十八日 文化協会総会(中央公民館)
- 二十七日 いきいき生涯学習塾開講式
- 五月十二日 書道部会香東会書道展(サンテラス)
- 六月 一日 小林邦二展(文化会館)
- 二四日 詩吟部会聖風流発表会(中央公民館)
- 七月 七日 合唱部会東部混声合唱団発表会(サンテラス)
- 二二日 棋道部会文化協会会長杯囲碁大会(中央公民館)
- 八月 五日 絵画部会東部町風景画展
- 十七日 (サンテラス)
- 十六日 カラオケ部会第六回部会発表会(サンテラス)
- 九月 四日 写真部会SFCちいさな写真展
- 十九日 書道部会恵水会書道展(サンテラス)
- 十月二七日 音楽部会TNSジャズオーケストラ演奏会(サンテラス)
- 十一月二日 総合文化フェスティバル
- 四日 菊花部会展覧会
- 八日 第七回せせらぎ編集会議
- 十八日 第十回東部町短詩型文学祭
- 十二月一日 「せせらぎ」第二十号発刊

文化協会

グループ紹介

木曜句会(俳句部会)

五年前、学校開放講座で、東部高校教諭の窪田英治先生に一年間御指導を受けた後、毎月一回、木曜日の夜に句会をとのことから、「木曜句会」と名付け勉強しています。現在の会員は十八名で、年二回ほど親睦を兼ねて吟行会も行なっています。会長の中島君江様は、「先ず仲間づくりを大切に考えております。草木や物を知る楽しみ、人へのやさしさと思いやりが芽ばえたことが何よりです。」と、話して下さいました。九月の季題は、「コスモス」と「水澄む」でした。先生の適切なご指導と、十七文字に魅せられた皆様、真剣な眼差しが心に残りました。折りしも秋を告げる虫の音が部屋に時折響いております。



ブーケ(せせらぎ部会)

文化フェスタバルに向けて準備中のブーケの皆さんを十一月一日公民館にお訪ねして、会長の小松信子(本海野)さんにお話を伺いました。

「ブーケはフランス語でbouquetで花束の意味です。フラワーアレンジメントですね。生け花との違いは剣山ではなく、オアシスという吸水性のスポンジに差ししていくことと葉っぱを沢山使うことです。丸とか三角とか菱形に仕上げていきます。使う花によって形は少しずつ違っていきます。フルーツを使うこともあります。今回のテーマはウエディングパーティーです。結婚式のパーティーの飾りつけです。こちらにいらっしゃるのが安中から来ていただいている小林のり子先生で、イギリスに留学なさいました。

会は六年目で、会員は十五、六人です。月に一回、土曜日の午後一時半から、四時まで公民館で練習していますので、興味のある方は覗いて見て下さい」



▲左は小林のり子先生

藤友会(藤手芸部会)

藤友会は蔓を使っているいろいろな作品を作る会です。

自分の作ったものを褒めてもらおうと、

とつても嬉しくなつてその人に作品をあげてしまうんです。」とメンバーになって十年以上という滋野の小管政敏さんが、こやかに話して下さいました。

藤友会は指導者の山口春香先生を中心に七名の会員がなごやかな雰囲気の中で勉強会を続けています。

無理をせずに、皆と楽しみながら作品を作り上げて行く。体の調子が悪い時には休んでしまいが、直ると早く皆の顔が見たいと思う、そんな会です。

長く続けることの貴さ、自分が楽しみながら周囲にも喜びを与える、ここに生涯学習の原点があるように思いました。



スノードロップ(音楽部会)

この会はピアノを弾く会です。

昨年三月発足し現在会員は六名。三十代、五十代の主婦の皆さんでとても楽しいグループとの事でした。

月二回の練習日、今取り組んでいるのが「バイエル」時々、好きな曲を取り入れるそうです。一番いいのは、皆で同じペースで一つの曲を弾くことと、心の通じ合いがあること……とのことでした。

昨年は、ミニコンサートをしたそうです。二人づつ取り組んで時々みんなの前で発表し合っているそうです。学級長の久保美恵さん談、「みんなピアノは、はじめてという方です。主婦をしながらピアノを両手で少しづつ弾くということ、そうした中で生ずる和を楽しむことを優先している」

とのことでした。



新グループ紹介

部会名	グループ名	代表者名
陶芸部会	炎群 創る	杉崎 信夫
せせらぎ	マーガレット	深井 恵子
彫刻	東部刻字会	船田貴久夫
文芸創作	シャイロックホームズと	
親む会		関 義豊
合唱	ウォール・ナッツ	坂口 光枝

皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

新加入グループ紹介

シャーロックホームズと親しむ会

(文芸創作部会)

九月六日(木) 会長の関義豊さんのお宅を訪ねました。関さんはもちろん文化協会の前会長です。

まずこの会をはじめた動機をお訊きました。信濃追分にホームズの像が立っています。この像建設のときに協力したのが縁で日本シャーロックホームズの会長の小林司(元上智大学教授)さんと知りあつたのだそうです。小林さんと手紙のやりとりなどをされるうちに信州にもこの研究会を作りたいと思うようになり、今回文化協会長退任を機に発会にこぎつけたとのことです。

七月二十日福祉センターで発会式が行われました。会員は現在十八名で月一回の学習会をしているので誰でも興味のある方は参加してほしいとのこと。お話を伺った後、近くの田んぼに行き関さん手製



のホームズの案山子(写真を見せてもらいました。

その後、九月二九日(土)の学習会に出席させて頂きました。会場は文化会館の第二会議室で「まだらの紐」「花嫁失踪事件」「ボヘミアの醜聞」についての研究発表がありました。十月上旬には追分宿を訪ねる一回会員の作品展を行い、年三回から四年一回「グリーンパーク通信」を発行すること、年会費は三千元(本年のみ二千円)だそうです。会員には軽井沢町追分の人や上田市、上田町などの人もいて、とても楽しそうな会でした。

第三十一回 菊花展

受賞者の皆さんは次のとおりです。

町長杯	春原 茂二面に写真	八十二銀行支店長杯	依田 敕
町長杯	松澤 房視	上田商工信用組合杯	半田 栄
公民館長杯	宮下 正之	上田信用金庫杯	金井 清光
文化協会長杯	佐々木芳夫	菊花会長杯	柳沢 廉
町議長杯	寺田 泰明	菊会会長杯	後藤 房子
農協組合長杯	荒井 久美	教育委員長杯	小林 孝子
		商工会長杯	岡本 愛子
		商工会長杯	小林 孝敏
		優 秀 賞	柵津小学校

黒姫童話館、ナウマン象博物館など

— 十三年度役員研修会 —

九月二十八日(金)に野尻湖のある信濃町への役員研修旅行(バス)が行われました。福島慎雄文化協会長以下参加者は二八名で例年のように石川好一講師の軽妙洒脱なお話があり車中あきることがありませんでした。「みなさん、頭と顔の境目はどこか知っていますか。それは眉毛の線だそうです」といった調子、万葉の時代から近世に至るまで喋るところ知らざるはなしといつたふうでした。

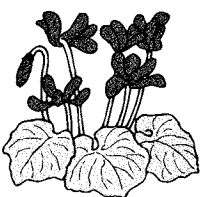
まず黒姫童話館を見学、ここは「モモ」の作者ミヒヤエル・エンデについての豊富な資料が展示され、信濃の民話コーナーや、「赤ずきん」「ピーターパン」「ムーミン」のコーナーも充実していました。また童画家「いわさきちひろ」の山荘が移築されていました。

次は一茶記念館でした。大豪雪地方の沢山の生活道具が陳列され、一茶愛用の硯や持ち歩いていた地図も展示されていました。最後に野尻湖に出て、ここで野尻湖ナウマン象博物館に入りました。まず復元像、牙から尾まで六メートル、肩までの高さ二、八メートルと巨大なもので、当時の野尻湖人は集団でこの巨大な動物を倒して食べていたそうです。ゾウの仲間は一生涯に六回も歯が生えかわるそうで、ナウマンゾウも入れ歯の心配なく一生を過したことでしょう。それにしても一九六二年に発掘がはじまる



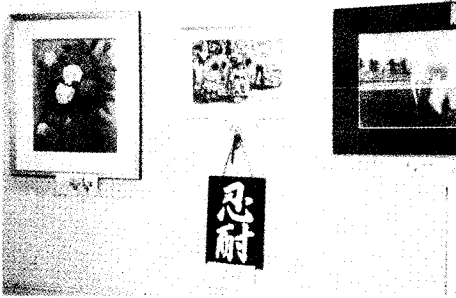
までここに巨大な化石が眠っていることを誰も知らなかったとは今となつては妙な感じ。その後は遊覧船に乗り、昼食をとり、四時半頃東部町文化会館に帰りました。

郷土史部会、高木幹男さんの感想「気がかりでした雨も止み、一茶記念館では雪国柏原の冬の暮しのさまざまな品を見ることが出来、紅葉のはじまった野尻湖を遊覧したことが印象に残りました」



東部町平成13年度総合文化フェスティバル

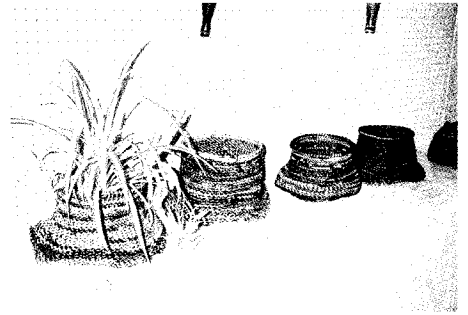
11月2日～4日 中央公民館



これからも 楽しみにしています



おいしいお菓子と熱いお茶、おもてなしの心が通います。



お花を生けると作品に命が吹きこまれるようです (藤手芸)



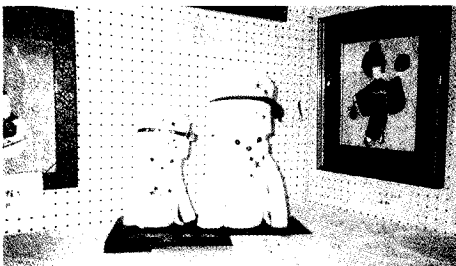
彫られたお花がうれしそうです (木彫)



ぽっかりと明るい一角
小学生の伸び伸びとした絵です



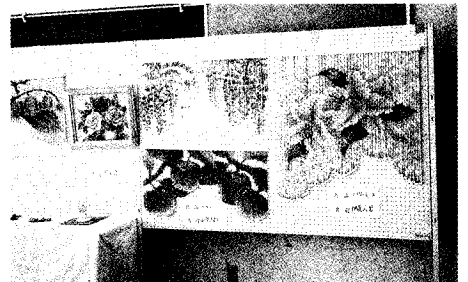
自分の絵や書が自分で表具できるなんてすごいですね



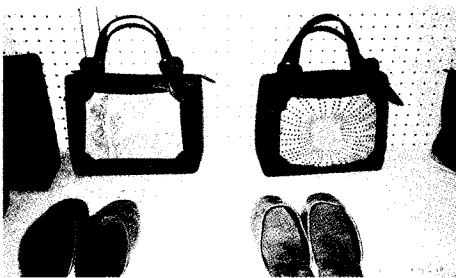
お揃いのすてきな帽子でこんにちわ (人形)



大作、力作揃い 足を停めてじっくり見せていただきました (絵画)



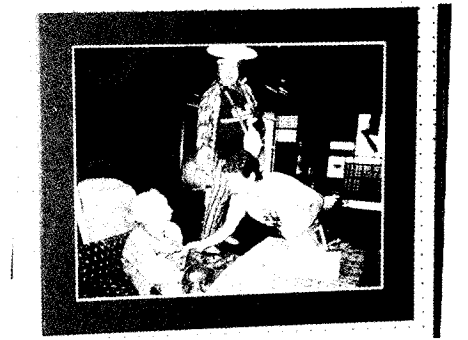
きれいな“のれん”ですネ



オリジナルブランド すてきです



私の編んだこのセーターステキでしょ!!



刺し子をされているおばあちゃんの写真素晴らしい!!



助役さんと何をお話ですか (書道)



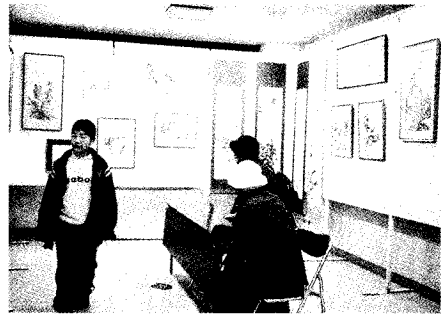
うーんどれも なかなかいいですね (俳句)



色あい、形、ととてもすばらしい作品揃いです (陶芸)



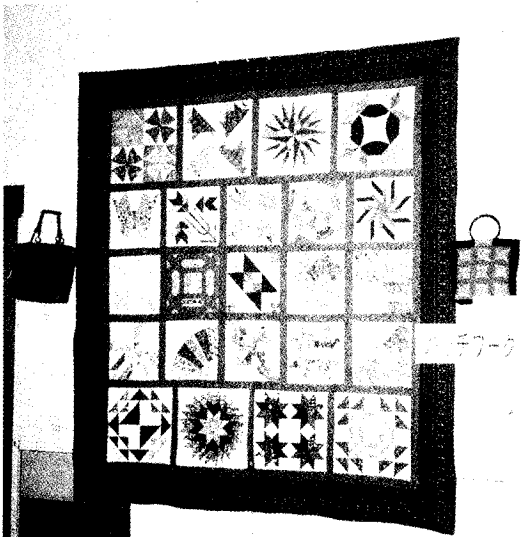
染色してからちぎり絵にしてなかなか大変です



濃淡の墨が作り出す幽玄の世界 (水墨画)



来年がまた楽しみです よくがんばりましたね



大作で苦勞が偲ばれます



花以外にレモンやぶどうもお仲間入り!! (フラワーアレンジメント)



橋本聖子さん親子の写真をお花で飾ったほほえましい作品です (押花)



このお花スバラシイ!!



ワァーッあ菊見事だネー

東部町民の気質から

テロ、アフガニスタン攻撃問題まで

— エッセイスト 玉村豊男さんに聞く —

十月下旬のよく晴れた日、エッセイストの玉村豊男さんを田沢の広々としたお宅にお訪ねして、いろいろとお話を伺いました。

*「いつからここにお住まいですか」

「軽井沢からこちらに越して十年ですね。見晴らしがよくて、夏涼しく、しかも果物や野菜が栽培できる場所を捜していたところこの土地が見つかったのです。土地は今五千坪あり、葡萄、夏野菜、ハーブを栽培しています。ゆかり館にも出していますが東京方面にも出しています。渋谷の代官山に小さな店を作りました。最初は女房と二人でやっていたのですが、当初の三千坪でも大変で、今は七、八人に働きに来てもらっています」

*「東部町についてお伺いしたいんですが」

「東部町は南斜面で葡萄も野菜もよくとれるし豊かですね。人情も陰湿なところがなく、明るいいし、ゆとりを持っている人が多いですね。文化はゆとりがあるところに育つと思います。文化協会の部会が三十以上あるということは、それだけ活発に活動しているということでしょう。現在は「景観の会」の会長をしています。もったいないらな面で協力していきたいと思っています」

*「アメリカへのテロ攻撃とアメリカのアフガニスタンへの攻撃は現在の大問題だ

と思いますが、これをどのように考えたらいいのでしょうか」

「世界貿易センタービルに旅客機が突っ込むところをテレビで見ましたが、びっくりしました。ただ、ケニヤのアメリカ大使館爆破テロとかアメリカへのテロはこれまでも何度も起こっており、すでにビンラディンを首謀者として追っていたため、これは戦争だ、報復だ、といち早く反応したのです。しかし、規模は大きくてもこれは戦争ではなくやはりテロだと思っています。こういう問題は日本の問題として考えてみると思います。日本が同じようなテロ攻撃に遭ったとして、何千キロも離れたアフガニスタンに自衛隊を送って攻撃するでしょうか。あるいはアメリカに出兵してくれ、と頼むでしょうか。テロ自体は許せない犯罪です。犯罪だから、報復ではなく裁判で犯人を裁くべきです。いま、国際的な刑事訴追機構をつくらうという動きがあります。ところがアメリカはこの機構が出来ることに対して反対しているのです。それはアメリカが沖繩など、世界各国に基地を持つていて、アメリカ兵がいろいろな犯罪を犯しているから、裁かれるのはアメリカというケースが多くなるからというのです。えひめ丸が沈められた問題でも、日本人の感情は加害者は国際刑事訴追機構といった

ところで裁かれるべきだ、ということでしょう。しかし実際にはアメリカの軍事法廷で裁かれ甘い判決になってしまいました。テロ攻撃に遭ったから、ウサマ・ビンラディンを殺す、匿うタリバンのアフガニスタンを武力攻撃する、というのではテロの犯人と同じレベルになってしまいます。日本としては犯罪として国際的な機構で裁くべきだということをアメリカに進言す



るべきでしょう。日米同盟ということもありますが、苦言を呈することもあるのが真の友情ではないでしょうか。今回のテロ以前から、政府与党は自衛隊の海外派兵を実現させたいと狙っていました。今度何かあったら自衛隊を外に出そうとしていたところへ渡りに船というわけで、それでテロ法案を急速に可決しようとしている。アメリカに配慮しすぎるといふか、ご機嫌を伺ってばかりいると思えますよ」

*「お仕事はエッセイストということだと思いますが、絵はいつ頃からお描きですか」

「父が日本画家ということもあって、早くから描いていました。高校の頃は美大に行きたいと思っていたくらいです。実際には

軽井沢の頃からはじめ九四年から毎年個展を開いています。主に水彩です」(注、はなおかギャラリーで十月個展を開いた)

*「今の長野県政についてお聞きしたいのですが」

「田中知事になってから県民が県政に関心を持つようになりましたね。が、車座集会をあちこちでやっても、実際には車座集会に行かない人のほうが圧倒的に多いでしょう。だから案外県民の声が届くようで、届かないということがあってはならないでしょうか。わたしは農業関係の指南役を頼まれて今やっていますが、それとは別に県民の声が、より広くから届くような民間有志による県民会議のようなものを作りたいと思つて準備を進めています。本当に開かれた県政にするには県民運動が必要です。わたしは、フランスやときにはアジアにも行きますが、一年のうち少くとも二四〇日はここで暮らしていますから、町の人たちとも大いに交流したいと思つています」

「つつもありがとつ」おきました」

「写図STIC」写真展

第四回「ちいさなちいさな写真展」がサンテラスホールで九月二日、九日まで開催されました。

中国、グアム、アメリカ、そしてはるか南米ペルーのマチュピチュ遺跡までの重要な作品から、日常のさり気ないスナップまで。「パフォーマンス」と題した作品で、大道芸人の技に見入る大勢の人の、表情が心に残りました。

発表会

TNSジャズオーケストラ

リサイタル

ジャズ演奏に元ボクシングチャンピオン? 不思議な思いで会場を訪れた方も多かったのではなかったかと思えます。

TNSでは毎年メンバーによるそれぞれの持ち味を生かした発表会を行っています。今年、今年のディレクター、テナーサクスの市川邦雄さんの知人で、軽井沢在住の元WBA世界Jライト級チャンピオン、上原康恒さんを初めてのゲストとしてお迎えし、オリジナル曲の演奏のひとつときを持ちました。

メンバーの大塚永彦さんによる軽妙な司会も楽しく、またほぼ満席の客席も、十九回目ともなると聴き上手で、手拍子や時には笑いの楽しいステージでした。

東部町混声合唱団発表会

「東部町混声合唱団、第十回定期演奏会、七夕コンサート」が七月七日、夜七時七分からサンテラスホールに於いて、華やかに開催されました。

平和への祈りを込めた「アヴェ・マリア」に始まり、「大中恵作品集」、そして特別出演の「プロ、アルテ長野弦楽四重奏団」の

また高校生の大日向輝彦君、上野悠君がベテランに混じって若々しい演奏を披露してくれました。

TNSは来年、結成三十周年、そして二十回目の演奏会を迎えます。



演奏とすすみ、プロ、アルテの演奏に合わせて、団員がそれまでの正装から、思い思いのカラフルなポロシャツに着替えて再登場した時が圧巻でした。会場からの軽やかな手拍子で、全員が一体となって後半の「宮崎駿アニメコレクション」へと進みました。

団員の赤堀峰晴さんは、「来年は松本のサイトウ・キネンに参加したい。そのために男性部員を増やしたい。一緒に歌って下さる方、是非ご参加下さい。」と話しておられました。

カラオケ部会の発表会

ケ部会発表会

会場の人達全員の、「明日があるさ」の合唱で幕をあげた、「第六回東部町カラオケ部会の発表会は、八月二十六日に会員のみなさま念願のサンテラスホールで行なわれました。お仕事に、家事にと勤しみながら例会に出られここに結実したことが大きな喜びとなったのでしょうか、晴れの舞台で堂々と歌われておりました。歌い終えて会場に戻り、他の方々に拍手を送られているのが印象的でした。朝九時三十分から午後五時迄、百二十一名の歌謡ショーでした。衣裳も又、それぞれに素敵で趣向をこらされていると感じました。一人の方が、「みんな歌が好きなのはばかりです。人の歌に嫉妬する人はおりません。」と話して下さいました。



文化協会には

こんな部会があります

- | | | | |
|----|--------|-----|--------|
| 31 | 郷土史部会 | 〃 | 高木幹男 |
| 30 | カラオケ部会 | 〃 | 小宮山袈裟幸 |
| 29 | せせらぎ部会 | 〃 | 小林信子 |
| 28 | 表貝部会 | 〃 | 小松良徳 |
| 27 | 川柳部会 | 〃 | 荒木正俊 |
| 26 | 邦楽部会 | 〃 | 佐藤雄治 |
| 25 | 藤手芸部会 | 〃 | 橋本きみゑ |
| 24 | 文芸創作部会 | 〃 | 清野賢一 |
| 23 | 棋道部会 | 〃 | 関野賢一郎 |
| 22 | ダンス部会 | 〃 | 小林喜一 |
| 21 | 軽音楽部会 | 〃 | 所林雅 |
| 20 | 音楽部会 | 〃 | 貢甚一郎 |
| 19 | 陶芸部会 | 〃 | 杉崎信夫 |
| 18 | 俳句部会 | 〃 | 森泉透 |
| 17 | 短歌部会 | 〃 | 柳沢菊子 |
| 16 | 菊花部会 | 〃 | 松沢房視 |
| 15 | 人形部会 | 〃 | 山本フジ |
| 14 | ちぎり絵部会 | 〃 | 岩崎定子 |
| 13 | 手芸部会 | 〃 | 丸野美智恵 |
| 12 | 茶道部会 | 〃 | 飯島綾子 |
| 11 | 華道部会 | 〃 | 小林清枝 |
| 10 | 合唱部会 | 〃 | 土屋征志郎 |
| 9 | 謡曲部会 | 〃 | 福島慎雄 |
| 8 | 詩吟部会 | 〃 | 関澤貞子 |
| 7 | 舞踊部会 | 〃 | 滝田利明 |
| 6 | 民謡部会 | 〃 | 船田和夫 |
| 5 | 彫刻部会 | 〃 | 近岸一郎 |
| 4 | 書道部会 | 〃 | 山岸喜俊 |
| 3 | 写真部会 | 〃 | 土屋清 |
| 2 | 水墨画部会 | 〃 | 保科芳雄 |
| 1 | 絵画部会 | 部会長 | 荻原芳雄 |

第十回

短詩型文学祭で

入賞された皆さん

短歌の部

- 町長賞 栗原 陽子 田中
 教育委員会賞 塚田 麗子 和
 公民館長賞 小林 久江 和
 文化協会長賞 野村 節子 小諸市

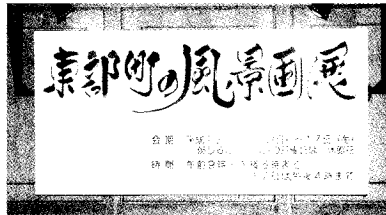
俳句の部

- 町長賞 掛川 玲子 常田
 教育委員会賞 北沢 秀夫 常田
 公民館長賞 大つかつみ 坂城町
 文化協会長賞 沓掛喜久男 坂城町
- 川柳の部
 町長賞 小林郁二郎 上田市
 教育委員会賞 野本 清魚 佐久市
 公民館長賞 中村 英福 上田市
 文化協会長賞 小林 喜一 本海野

現代詩の部

- 町長賞 山崎明代子 上田市
 教育委員会賞 山崎 清子 上田市
 公民館長賞 滝沢 富子 上田市
 文化協会長賞 文化協会長賞 関崎 岩雄 上田市

「東部町の風景画展」東部町美術会

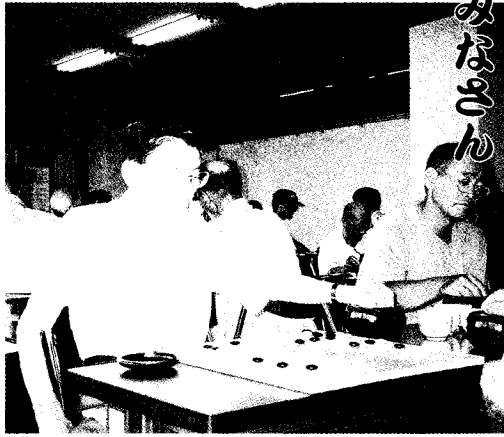


東部町文化会館に於いて八月五日〜十七日迄企画画展がありました。作品は、五十点。その中で、取りこわされる前の東部中学校を絵に残して・・・との思いで描かれた作品も数点ありました。

囲碁大会で入賞されたみなさん

七月二日に第十二回文化協会会長杯争奪囲碁大会が中央公民館で行われました。入賞者は次の通りです。

- A組(二段以上の部) 十六人参加
 優勝 渡辺 明彦(乙女平)
 準優勝 土屋 哲夫(金井)
 三位 田中 政徳(田沢)
- B組(初段以下) 十六人参加
 優勝 柳沢 久(常田)
 準優勝 市村 昭雄(日向ヶ丘)
 三位 吉池 幸男(常田)



オペラティックコンサート

開かれる

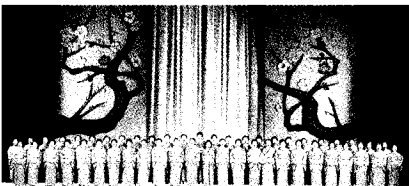
十三年十一月十八日(日)、ソプラノ歌手 澤畑恵美さんと、テノール歌手高野二郎さんとオペラ合唱を楽しむ会合唱団(土屋征志郎会長)が歌う、表記の会が午後四時から行われ、すばらしい歌声にほほ満席の聴衆は魅了されました。



詩吟部会「聖風流東部支部」

私達の会員は、毎年十一月の第二日曜日東京で行われる全国大会に通算二十八回出場しています。その他流派選出により毎年個人のコンクールがあり東部支部からは、つねに五〜六人が上位入賞します。皆それに向けがんばっています。平素は楽しく明るく吟じて高齢化にそなえ心身の向上に励んでいます。

渡辺 美洲さん談



文化会館子クラブメーンション

平成十三年度 東部町合唱祭

十二月八日(土)

午後六時三十分開演

主催 東部町文化協会合唱部会

第十回 東部町邦楽発表会

平成十四年二月三日(日)

午後一時開演

主催 東部町文化協会邦楽部会

第二十三回 東部町舞踊発表会

平成十四年三月十七日(日)

午前九時開演

主催 東部町文化協会舞踊部会

編集部より

編集委員四人ともこの仕事は初めてで戸惑いながらもなんとか発行というところまでこぎつけました。取材に応じて下さった各グループの皆さんもとても協力的でおいに助かりました。厚く御礼申し上げます。今回は玉村豊勇さんへのインタビューを企画してみました。

来年は創立三十周年ということで記念号となります。よろしくお祈りいたします。



- 清野 竜
 後藤 通子
 丸山千恵子
 栗原 陽子